

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年5月24日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、特に追加の情報はございません。

2ページ目中段になります。5月28日火曜日、(5)第718回の審査会合についてでございます。こちらは午前中の会合でございますが、特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、四国電力・伊方発電所3号機の特重施設の工認についての審査が行われる予定でございます。

次に、その下、(6)第5回の実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合、こちらが同日28日の午後に開催される予定でございます。こちらは、審査の対象として3件が現時点で予定されております。

まず、1件目といたしまして、中部電力・浜岡発電所の保安規定の変更についての審査が行われる予定でございます。初回ということで、概要の説明をお聞きするという予定でございます。

次に、2件目といたしまして、関西電力・大飯発電所の、こちらも保安規定の変更について、同じく初回ということで、概要の説明をお聞きする予定でございます。

3件目といたしまして、関西電力の美浜発電所、こちらは廃止措置計画の変更についての審査が行われるという予定となっております。

次に、3ページ目上段です。5月30日木曜日、(9)第279回の核燃料施設等に係る審査会合、こちらが午前中に開催される予定でございます。議題は記載のとおり2件の予定でございます。

まず、1件目といたしまして、日本原燃の廃棄物埋設施設の許可申請についての審査が行われる予定でございます。こちらは一通り審査を進めてまいりまして、現在、順次、コメント回答を行っているところでございます。今回は廃棄体の放射線量の設定や排水の実績などについてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、議題の2番目といたしまして、三菱原子燃料株式会社の加工施設に係る設工認の申請についての審査が行われる予定でございます。こちらは分割申請が行われておりま

して、3月19日に申請が行われた分についての説明を聴取するということが予定されております。また、あわせて、順次分割申請が行われておりますので、全体のスケジュールについても説明をお聞きするという予定となっております。

次に、その下、(10) 第719回の審査会合が同日のこちらも午前中に開催される予定でございます。こちらは大規模損壊等に係る審査ということで、非公開とさせていただきます。審査の対象は、東北電力・女川発電所2号炉の大規模損壊発生時の体制整備についての審査が予定をされてございます。

同じく3ページ目の下段になります。(12) 第6回の原子力施設等における事故トラブル事象への対応に関する公開会合、こちらが同じく5月30日木曜日の午後に開催される予定でございます。こちらの議題は、記載のとおり、柏崎刈羽原子力発電所1号機の非常用ディーゼル発電機(B)の異常についての対応についての審議・議論が行われる予定でございます。

こちらは昨年8月末に発生した事象でございまして、公開会合での審議を重ねてきてございますが、今回は原因と対策の報告に関する補正が提出されておりますので、これについての議論が行われるという予定でございます。

次に、その下、(13) 第30回東海再処理施設安全監視チーム会合、こちらが同じく午後、14時から開催される予定でございます。議題といたしましては、ガラス固化の再開に向けた準備の状況について説明をお聞きするほか、廃止措置計画の変更認可の申請が提出されておりますので、これについての指摘事項をお伝えするというも行われる予定でございます。

最後に、4ページ目、3.委員の現地視察の予定が1件入ってございます。関西電力・美浜発電所3号炉、こちらについて、新規制基準適合性審査に係る現地調査ということで、5月31日金曜日に石渡委員ほか調査に行くという予定となっております。こちらは新規制基準適合性審査の一環ということで、特定重大事故等対処施設に係る地質・地質構造についての確認を行うことが予定をされてございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ワタナベさん。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしく申し上げます。

最後に御説明いただいた委員の現地視察の関係で伺いたいのですけれども、特定重大施設に係る地質・地質構造を見るということでしたが、具体的にもう少し、どういったところを見ていくのかということと、この時期に視察をする、調査をする狙いというのはどの点にあるのかというのを教えてください。

○大熊総務課長 特定重大事故等対処施設ということで、余り詳しいことは申し上げにくいのでございますけれども、補足できるといたしますと、ボーリング調査を行っているということでございまして、そのボーリングで得られた試料を確認するといったことが予定されているということでございます。

時期につきましては、かねてから、その調査が整った、調査が行われた段階で、この確認を行おうということを考えていたところでございます、その調査が行われたと、確認できる状態になったので、今行くということでございます。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 それでは、フクオカさん。

○記者 日経新聞のフクオカと申します。

要人面談の島根県知事の来訪なのですけれども、これの趣旨と内容についてお伺いしてもよろしいですか。定例のものなのか、それとも非定期にやっているものなのか。

○大熊総務課長 今御質問いただきました、御説明はいたしませんでしたが、日程にございます27日月曜日に知事が来訪されて、長官がお会いするという予定になってございます。こちらは県からの要望を頂戴するという予定でございます。地方公共団体、立地自治体などから要望をいただくということはしばしばございますが、そうしたものの一つということと御理解いただければよろしいかと思えます。

○記者 島根県は年に1回来たりしているようなものなのですか。前回、滋賀県の副知事が先日来られたときは、大体毎年というか、去年も来られていたというようなことがあったのですが。

○大熊総務課長 そうですね。ちょっとどのぐらいの、前回いつ来られたか、今は手元に情報がございませんが、予算編成などに向けて要望をお持ちになるということは、よくあることございまして、その一環で原子力規制庁に来られるということでございます。予算編成に関する要望だというふうに伺っております。

○司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—